

山梨ライトハウス

第93号

発行/社会福祉法人 山梨ライトハウス 〒400-0064 甲府市下飯田2-10-1

TEL/055-222-3502 FAX/055-233-0124 URL <http://yamanashi-lighthouse.or.jp>

情報文化センター 電話/055-222-3502
貸出・用具専用/055-223-1113
青い鳥ホーム 電話/055-242-8244
青い鳥成人寮 電話/055-224-5060
青い鳥支援センター 電話/055-267-7480
青い鳥老人ホーム 電話/0553-26-6631
青い鳥ケアホーム 電話/055-235-5566

社会福祉法人 山梨ライトハウス



山梨ライトハウスの理念は
「^{あす}視覚障害者の未来を照らす
^{みちしるべ}光の道標となること」です。

CONTENTS

巻頭言	1	感謝状・表彰状を贈呈	6
コロナ禍での各施設行事等	2~5	新人職員紹介	7
用具紹介	5	お知らせ	8

令和四年四月

令和二年の初頭以来、青い鳥成人寮においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止を最重点課題として掲げ、様々な取組を進めてきました。

感染防止対策として、職員には、三密の回避、他県への移動や同居家族以外との飲食の自粛を求めるとともに、施設内でのフェイスシールド・マスク・手袋の着用を徹底しました。利用者やご家族の皆様には、帰省や面会の自粛をお願いしました。

また、感染の早期発見のため、抗原検査キットやPCR検査を活用するとともに、職員には、わずかな体調変化であっても医療機関を受診するように促してきました。

更に、感染した利用者の施設内での療養を想定し、ガウン・マスクの研修や施設内のゾーニングのシミュレーションなどを数次にわたり行ってきました。

こうした中で、令和四年四月、二十三名（利用者十九名、職員四名）のクラスターが発生しました。

四月十二日に一名、十四日に十六名、十六日に六名の感染が判明し、大きな衝撃を受けるとともに、どこまで感染が拡大するのかと心配しましたが、その後十八日のPCR検査で全員陰性となり、四月二十六日をもって終

息させることができました。

利用者やご家族の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしました。また、甲府市につきましては、甲府市保健所や障がい福祉課の皆様からご指導・ご支援をいただき、山梨県につきましては、「感染制御・業務継続支援チーム」によるきめ細かい具体的な感染拡大防止策のご指導をいただきました。

ここに改めて心からお詫びとお礼を申し上げます。

この度の事態を契機として、食事提供方法の見直しをはじめ更なる感染防止策を検討し、実行していきます。

同じ四月、嬉しい出来事もありました。

女性の新卒生
活支援員三名を迎えることができましたのです。女性の新卒採用は青い鳥成人寮にとつて十年ぶりとなります。

就職後間もない新卒職員にとつて、新型コ



情報告知板（情報の伝達と共有）



入室に必要な物品類 **整理整頓と定期的な掃除で常に清潔を保つ**
①アルコール ②Pタオル ③ガウン ④マスク ⑤手袋
⑥フェイスシールド ⑦ゴミ袋 ⑧オムツ類

山梨ライトハウス法人事務局長
（兼青い鳥成人寮施設長）

安藤 輝雄

コロナウイルス感染への対応は厳しい洗礼となりましたが、膨大なごみの搬送や迅速な資器材の補充など後方支援の役割を果たし、利用者への直接支援に当たる職員の活動を支えてくれました。そうした中で、感染のリスクを伴いながらも奮闘する先輩職員の姿を見て、得られたものも多かったのではないかと思います。

新卒職員は、青い鳥成人寮で卒業後の新たな一歩を踏み出したのですから、青い鳥成人寮の職員としてだけでなく、社会人としての成長を支援していくことが私達に課せられた責務であると考えています。

コロナ禍での各施設行事等

●情報文化センター●

「スマートフォン教室」

四月二十四日、山梨県障害者ＩＣＴサポートセンターとの共催で、W i z W o r k s 代表 田崎輝美様と、当センターの利用者でもある白濱顕子様を講師に迎え、初心者を対象に「スマートフォン教室」を開催しました。

まず始めに、参加者から自己紹介と、日頃からスマートフォンの機能で困っていることや使えるようになりたい機能などを話してもらいました。続けて講師からスマートフォン

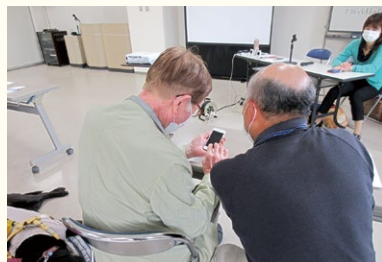


講師の話に耳を傾ける参加者

際の設定、ホーム画面や基本操作などの説明がありました。参加者の使用している機種がそれぞれ異なりましたが、ＩＣＴサポートセンターのパソコンボランティアさんが参加者にそれぞれつきまわしたので、操作を一緒に確認しながら行うことができました。

後半では、電話帳の登録について、白濱さんからスマートフォンの使って、名前などの入力方法の説明をしてもらいました。操作は慣れるまで難しいですが、分からなくなっても音声ガイドダンスをしつかり聞いて、落ち着いて操作をすることが大切とのことでした。

コロナの流行で久しぶりの行事となり、あつという間のひとときでした。未だに収束の兆しが見られない感染症ですが、そんな時だからこそ、便利なツールを使いこなせるよう、これからもサポートを続ける必要があるのではないかと感じました。



ボランティアと一緒に操作を確認する参加者

●青い鳥老人ホーム●

フルーツパフェ作り

三月九日・十六日の二日間に分けて、利用者全員が参加しフルーツパフェ作りを行いました。

コロナ禍の中で利用者に楽しいひと時を味わってもらうため、担当職員が話し合いと試作を重ね、当日を迎えました。

色々なフルーツをベースに、トッピングは生クリームにいちごソースとポッキー。自分で盛り付けをするのは皆さん初めてです。戸惑いもありましたが、職員と一緒に作るうちに「こんなにクリームを盛っていいなんて嬉しい」「ポッキーは一人何本かな」「崩れてしまったけど形じゃない。味だよ」と、大盛り上がりでした。

さてお味の方は…自分で手を加えることで美味しさも増すようで、「喫茶店のパフェより美味しい」「ボリウムもあつて最高」「また、やりたい」と大変好評で担当職員もひと安心です。

手作りパフェを食べて気分も良くなったところで、施設長にカラオケのリクエストが入ったりと、賑やかなひと時を過ごすことができました。



クリームたっぷり



味も最高



100歳もチャレンジ



集中してます



●青い鳥支援センター●

「青い鳥支援センター」ってこんなところ

もうすぐコロナ禍における三度目の夏がやってきますが、支援センターにおいては感染予防の観点から、利用者参加型の行事を行うことができません。そこで広報の場をお借りして「青い鳥支援センターってこんなところ」と題し、紹介をさせていただきますことにしました

居宅介護支援事業所 青い鳥
ケアマネジャーがいる介護の相談窓口
介護サービスに関する説明・手続き、
連絡調整や書類作成を行います
☎055-221-0880

ヘルパーステーション青い鳥
介護保険・障害福祉サービスを利用
される方、自宅へ訪問し支援します
視覚障害者の外出付き添いをします
☎055-221-0880

青い鳥 支援 センター

地域生活支援事業
日中一時支援（預かり）
移動支援（外出・送迎）
☎055-267-7480

相談支援事業所ヴィーヴィ
障害福祉サービスを使われる方の
相談を受けます
☎055-221-1260

次号以降、各事業について詳しく紹介していきます。

●青い鳥ケアホーム●

桜満開 お花見

春といえぱやっぱり「お花見」。ぽかぽか陽気の中、お弁当を持って桜の下でのんびり過ごすのは最高です。今年もケアホームではお花見を楽しみました。体調観察と感染予防をしっかりと行い、密にならないように男性と女性の二グループに分かれてのお花見になりました。



ハンバーガー、おいしいな

久しぶりの外出に、皆さん、わくわくです。当日は桜が満開。お天気も良く、女性はお小瀬スポーツ公園の青空の下、お弁当とデザートでお腹は満

腹。その後は「食べ過ぎた。ダイエットしないと」との言葉が聞かれ、公園内の散歩を楽しみました。風が吹くと桜吹雪が舞い、桜を手にとり、春を感じることができました。男性はハンバーガーセットを荒川の河川敷で、サイクリングロードを散歩し汗を流しました。皆さん、わずかな時間ではありましたがリフレッシュし、笑顔あふれる花見となりました。



満開の桜の木の下で「はい、ポーズ」

誕生日の冒険

青い鳥ケアホーム第三で生活されている丸山さんの、ある日のエピソード。その日は彼の三十歳の誕生日でした。いつもの日曜日はのんびりと過ごしているのに早起きして掃除、洗濯と何やら慌ただしい様子。朝食を済ませるとリュックサックを背負い、カメラを持ち……、

丸山さん「行ってきました」

職員「どこへ？」

丸山さん「車で電車で行ってきます」

職員「えっ!？」

丸山さん「アンテナを見に行きます。二

時には帰ってきます」

丸山さんは笑顔でうきうきしています。突然のことでしたが、本人を信じ、送り出しました。自分で自分をお祝いしたと帰宅後に聞き、人生を楽しめている姿に感動しました。

これから

「本人主体の人生」の

応援ができる

ケアホームであります。



機械、アンテナ大好き！

コロナ禍での各施設行事等

●青い鳥成人寮●

節分

新型コロナウイルスの影響で、今年も利用者が集まっていた節分、豆まきはできませんでしたが、鬼退治ができないのは寂しいということ、やり方を工夫して少人数での実施となりました。

各作業場に鬼が現れることにし、利用者は作業を行いながら鬼が来るのをドキドキして待ち構えていました。いざ鬼がやってくる大きな声で「鬼は外!」「鬼が来た!」と皆思い思いに声を出しながら豆を投げていました。なかには豆を投げず「この豆美味しいですね」と味わっている方もいましたが、各作業場で鬼を退治して、最後には記念撮影をしました。



鬼は外!



つかまっちゃった



鬼が来たぞ!



やさしい鬼かな?

初めから笑顔で豆を投げる方、最後まで緊張している方、職員の後ろに隠れる方など、十人十色のリアクションがあり、最後には「またね!」と嬉しそうに挨拶をして、鬼も利用者も楽しい節分となりました。

いちご狩り

三月三十一日、青い鳥成人寮ではレクリエーションがあり、その中での一大イベント、いちご狩りを開催しました。なかなか外出ができないこのご時世、なんとか利用者に楽しんでいただこうと、成人寮の中でもできるいちご狩りを考えました。衛生面に気を使いながら物干しにいちごを吊るして、まるでいちごが実っているかのようにしてみました。

いざ、いちご狩りが始まると、真剣な表情でいちごを探る方や、「どこにあるかな?」と嬉しそうにいちごを探す方など、利用者それぞれ、いちご狩りを楽しんでおられました。もちろん、いちごを採った後はその場でパクリと、大きないちごを美味しく頬張っていました。



新人職員といっしょに



上手に取れるかな?



おいしいなあ



たくさんとれたよ

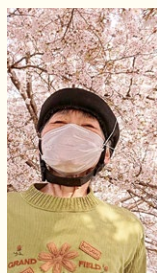


●青い鳥成人寮●

お花見



お花見にきたよ



満開です



いい景色

四月某日、車に乗ってお花見に行ってきました。青い鳥成人寮では、冬の時期を感染症対策強化期間としていて、通院等の必要な場合を除き、一切の外出を控えています。厳しい対応策ですが、利用者の理解と協力を得られているお陰で、昨年度は利用者、職員共々新型コロナウイルスや季節性インフルエンザを患うことなく、無事に今年度を迎えることができました。

基本的な感染防止対策は徹底しました。利用者
は、「お花見に行きますよ！」と伝えると、ウキウキした様子で、我先にと玄関へ向かっていました。人混みを避ける、マスクを付ける等、何かと気を使う外出でしたが、「来年も、一緒に見に来たいですね！」と、帰りの車内、みんなで話していました。



はいチーズ

用具紹介

体操ブーブー

夏の風物詩といえば、スイカ、カキ氷、海水浴などいろいろありますが、夏休みの早朝に子どもたちが集まて行く「ラジオ体操」も、夏ならではのイベントでしょう。あの音楽とかけ声が流れてくると、自然と体が動き出してしまう方も多いのではないでしょうか。約3分間の音楽に合わせて、楽しく無理なく体を動かすラジオ体操は、世代を超えて親しまれ、現在もNHKラジオ第1で、朝6時30分から毎日放送されています。

ラジオ体操は、「有酸素運動」と「ストレッチ」の要素を兼ね備えたすごい運動法です。期待できる効果には、「体型の維持」、「血管を若々しく保つ」、「呼吸機能を保つ」、「骨粗鬆症の予防」などがあります。継続して行うことで体操の効果がより発揮されるといわれていますので、毎日時間を見つけて実践することをおすすめします。

そんな、体力向上と健康維持におすすめのラジオ体操を、「自分の好きな時間に行いたい」という方にオススメなのが、小さなブタのマスコット「体操ブーブー」です。「体操ブーブー」は、ブタの形をしたプラスチック製の置物です。高さは約9センチ、コンパクトな手のひらサイズなので、どこにでも置くことができます。ブタの色は白で、「R-1」と書いてある赤いTシャツを着ています。ブタの鼻のボタンを押すと、9種類のかけ声がランダムで流れた後、ラジオ体操第一が始まります。

「運動不足を解消したい」「健康のために運動習慣をつけたい」と考えている方は、ぜひ「体操ブーブー」をお供に、ラジオ体操を始めてみてはいかがでしょうか。

価格は2,340円です。

商品仕様

大 き さ：(幅) 7×(奥行) 5.5×(高さ) 8.5cm
重 さ：約94g
材 質：樹脂
使用電池：単4アルカリ乾電池2本
製 造 元：株式会社ハシモト
付 属：音声版の取扱説明書(一般CD)



ご注文、お問い合わせは、山梨ライトハウス用具部(電話055-223-1113)までご連絡ください。

感謝状・表彰状を贈呈

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防のため、役員会席上での贈呈はできませんでしたが、萩原理事長より次の皆さまに感謝状並びに表彰状が贈られました。

【感謝状（福祉功労者）】

ボランティア活動を通じて、5年以上継続的に活動し、障害者福祉の向上に尽力しその功績が特に顕著で他の模範と認められた方に贈られます。

- 河西登茂子 様（青い鳥奉仕団 点訳奉仕）
- 清水 伊代 様（青い鳥奉仕団 点訳奉仕）
- 出口 京子 様（青い鳥奉仕団 点訳奉仕）
- 野村三枝子 様（青い鳥奉仕団 点訳奉仕）
- 一瀬眞喜子 様（青い鳥奉仕団 音訳奉仕）
- 笹本 洋子 様（青い鳥奉仕団 音訳奉仕）
- 浅川和多留 様（川柳指導）
- 越石 一彦 様（俳句指導）
- 藤原 慶子 様（すみれの会）

【表彰状（永年勤続者）】

施設職員として10年以上勤務し、その功績が顕著で他の模範と認められた職員へ贈られます。

- 有井 寛人 様（青い鳥成人寮）
- 上野 孝子 様（青い鳥成人寮）
- 奥秋 裕美 様（青い鳥成人寮）
- 青木きみ代 様（青い鳥老人ホーム）
- 村上さおり 様（青い鳥老人ホーム）
- 三枝 俊子 様（青い鳥ケアホーム）

【いきいき輝き賞】

障害を克服し自立生活、生涯学習、社会参加などに積極的に取り組み、心豊かな生活を営み、いきいき輝いて生活するとともに、他の利用者の模範と認められた方に贈られます。

- 土屋 吉久 様（青い鳥成人寮）



毎日、散歩や巧緻性等の作業に張り切って取り組んでいます。
音楽が好きで、行事の時には歌を披露して場を盛り上げています。

- 松木 鏡 様（青い鳥老人ホーム）

皆さんに助けをもらいながら過ごしています。
これからも元気に楽しい日々を過ごしていきたいと思います。



皆様、おめでとうございます!

新人職員紹介

(令和4年1月～令和4年5月採用)

- ①氏名
- ②所属
- ③職種
- ④好きな言葉、
または一言



すずき けいこ
①鈴木 景子
②情報文化センター
③事務員
④初心を忘れず、頑張ります。よろしくお願いします。



あさひな みづき
①朝比奈 美月
②青い鳥成人寮
③生活支援員
④当たって砕けろ



すみよし ゆい
①住吉 由衣
②青い鳥成人寮
③生活支援員
④人は必要なときに
必要な人と出会う



ほさか みづき
①保坂 水月
②青い鳥成人寮
③生活支援員
④一生懸命頑張ります
よろしくお願いします！



つちや けん
①土屋 健
②青い鳥成人寮
③生活支援員補助
④早くお役に立てるよう
日々勉強いたしますので、
よろしくお願いします。



もちづき みちこ
①望月 美智子
②青い鳥老人ホーム
③生活支援員
④十人十色



おおしま ちよ
①大島 知誉
②青い鳥老人ホーム
③看護師
④仕事は楽しく



おか くみ
①岡 久美
②青い鳥老人ホーム
③看護師
④元気が取り柄です



いしかわ はつみ
①石川 初美
②青い鳥老人ホーム
③支援員補助
④いつも明るく前向きを
心がけ、旅行とお酒が
大好きです。よろしく
お願いします。



ねづ かつえ
①根津 カツエ
②青い鳥ケアホーム
③世話人兼生活支援員
④1日1日を大切に



かさい こういち
①笠井 晃一
②青い鳥ケアホーム
③世話人
④楽しく 頑張ります

新しく採用になった皆さんです。宜しくお願いいたします！

夏休み盲導犬学習会

「盲導犬ってどんな訓練を受けているの？」
「目の不自由な方をどうやって案内しているの？」
「見かけたら何かお手伝いできることあるのかな？」

盲導犬についてのお話を 聞いてみよう！

- 日 時 令和4年7月31日(日)
午後1時～3時30分
- 場 所 山梨ライトハウス情報文化センター
甲府市下飯田2丁目10-1
- 講 師 日本盲導犬協会スタッフ、盲導犬
- 対 象 小学生
- 定 員 10名(先着順)
- 参加費 無料
- お申し込み・お問い合わせ
山梨ライトハウス 情報文化センター
夏休み盲導犬学習係まで
電話 055 (222) 3502
申し込み切り日 令和4年7月25日(月)まで

※新型コロナウイルスの感染状況により予定が変更になる場合があります。



音訳奉仕員養成 講習会 受講者募集！

視覚障害者の読書の普及を図るため、書籍などを音訳※していただけるボランティアを養成する講習会を開催します。

※音訳：活字を音読すること。

- 音声検査 令和4年8月3日(水)
※応募者に音声検査と面接を受けていただき受講者を決定します。
- 講習会 令和4年8月24日(水)～12月14日(水)
午前9時30分～11時30分
※11月23日を除く 毎週水曜日 全16回

- お問い合わせ先
山梨ライトハウス情報文化センター
音訳奉仕員募集係
TEL.055-222-3502



第40回 長谷部賞の贈呈

受賞者 河内 裕子 様

河内様は、昭和59年4月から38年の長きにわたり、青い鳥成人寮や青い鳥老人ホームにおいて生活支援員として勤務し、視覚障害をはじめとする様々な障害を持つ方々への支援業務に誠意をもって取り組んできました。

令和2年度からは青い鳥ケアホームに所属し、障害者の地域福祉の充実に尽力するとともに、副主査として人材育成を推進するなど、障害者や高齢者の福祉の向上と山梨ライトハウスの発展に大きく貢献しています。



長谷部像の前で

長谷部賞について

視覚障害者福祉不毛の地といわれた山梨県に、「山梨ライトハウス」を創設、「山梨県盲人会（現・山梨県視覚障がい者福祉協会）」や「山梨青い鳥奉仕団」を設立するなど、本県の障害者福祉の向上と発展に半生を尽くされた、長谷部薫先生の功績を永く記念するため、本賞を創設しました。

本賞は、昭和58年より贈られています。永年にわたり視覚障害者の文化の向上と福祉の増進に尽力され、その功績が特に顕著な方に贈られますが、これまでに今回も含めて46名の方が受賞されています。

川柳

浅川 和多留 選

● ライトハウス川柳会から

がんばろう無理を承知でやり抜こう

桑原 梅次

いじらしい遣り繰り知って無理言わぬ

萩原 満治

欠点をとがめられても直らない

岡部 恵子

このくらいそれでも障る歳になり

堀内 孝春

無理の後副反応が追ってくる

本間りょう

嫌いなものを無理やり口に押し込まれ

相沢 幸雄

難題も惚れた弱みで無理背負う

埜村 和美

● 青い鳥老人ホーム川柳

仲間だと言ってくれた手温かい

影山笑美子

会える日を楽しむ仲間電話来る

松本 鏡

仲間たち一緒に勉強やりたいよ

佐野 武重

良き仲間持ちつ持たれつ底い合い

山本サカエ

見えぬ目に仲間優しい青い鳥

斉藤はる子

仲間たち共に苦しみ乗り越える

佐野 英夫